

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

- 自主・創造・共生
- 自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】
 - お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】
 - たくましい心と健やかな体を育てます【体】
 - 社会とのかかわりを大切にし、共に生きる態度を育てます【公】
 - さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

- ・自ら学び、自ら考え、行動する力
- ・変化に対応し、創造する力
- ・他を認め、協働して課題解決をする力

具体化した資質・能力

- 自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】
- お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】
- たくましい心と健やかな体を育てます【体】
- 社会とのかかわりを大切にし、共に生きる態度を育てます【公】
- さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】

中期取組目標

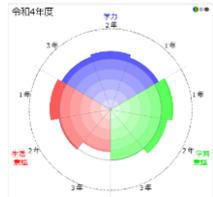
- 1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。
- ・主体的・対話的で深い学びとなるように授業を改善するとともに、特別支援の考え方をもとに授業のユニバーサルデザイン化を図ります。
- ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。
- ・地域と連携・協働しながら、社会の一員として求められる資質・能力を育みます。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	①教員相互の授業見学の期間を昨年度よりも長く設定し、引き続き授業評価と授業見学を柱に授業改善に取り組む。②各教科でICT機器を活用した対話的な学びについてさらに実践し、その実践事例を教職員間で共有できるように発信する。
担当	学習指導部

学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力に関わる生徒の実態
横浜市学力・学習状況調査において、どの学年も学力が市平均を上回っており、学習意識も高い。しかし、全体としての学力は高めであるが、基礎学力の定着に課題のある生徒が一定数いることに留意しなければならない。また、以前から課題となっている「自分にはよいところがある」という質問について、肯定的な回答が少ない部分はあるが、改善の傾向にある。今後も人との関わりの中で、親和的で相互に認め合う姿勢を育てながら、生徒の自己有用感を高めていきたい。



- (2) これまでの学校の取組状況
さまざまな学力層の生徒が意欲をもって学習に取り組めるよう、授業のユニバーサルデザイン化を図っている。
- 【共通授業コンセプト】
授業のつかみ 一ねらいの提示 一流れの説明
一展開 一まとめ 振り返り
1. 「授業のつかみ」を大事にします。
 2. 授業のはじめにねらいを明確にします。
 3. 学習に見通しが持てるようにします。
 4. 授業展開に次のような工夫を取り入れます。
 - ・居場所のある授業・参加できる授業を行います。
 - ・親和的な学習集団をつくり、主体的で対話的な深い学びを目指します。
 - ・小グループ(ペア)での学習を取り入れます。
 5. 「学習のまとめ」で定着、意欲付けを図ります。

今年度の目標

主体的・対話的で深い学びにするために、ペアや小グループでの学習を取り入れ、主体的に考え、自ら表現する学びを実践し、仲間と聴き合う活動を大切にする。

目標を実現するための具体的な行動プラン

	具体的行動
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・全体: 「共通授業コンセプト」の実践に取り組み、授業改善を図る。 ・国語: 学習課題について主体的に考え、他者と話し合ったり、相手に考えを伝えたり、議論したりしながら、他者と協働して課題を解決する言語活動を意図的に設定する。 ・社会: 学習課題について主体的に取り組み、他者と関わって、よりよい社会の形成に向けて協働する学習を展開する。 ・数学: 学習課題について主体的に取り組み、他者と教え合ったり、相手に考えを論理的に説明したりする数学的活動を積極的に展開する。 ・理科: 観察、実験の仮説の設定や結果から、他者と対話をし、自分の考えをより妥当なものにできる学習を展開する。 ・音楽: 見方・考え方を働かせながら根拠をもってよさや美しさを考えることができる場を設定し、より深く音楽を味わうことのできる学習を展開する。 ・美術: 生徒自身が強く表したいことを主題にし、根拠をもってよさや美しさを考えたりすることを重視した学習を展開する。 ・保健: 仲間とコミュニケーションを大切にし、お互いに協力して自己やグループの課題を発見するとともに、その解決に向けて仲間と協力しながら工夫して取り組む。 ・技・家: 様々な場面で活用できる力を実習や体験的学習から身に付け、日常生活における問題発見及び解決を意見交換しながら行い、一人ひとりの課題解決能力を育成する。 ・外国語: 音の特徴に注意しながら音読し、単語や文の意味、文法についての理解を深め、身近な場面や状況に応じて、主体的に表現活動を行う。 ・道徳: 様々な場面で互いの理解を深め、仲間や家族、社会に向けて主体的に考え行動しようとする心情を育てる。 ・地域・防災: 防災に関する知識を身につかせ、地域の一員としての確に判断し行動できる生徒を育てる。 ・特活: 様々な話し合い活動や集団活動を通して、自他ともに大切にすることを養い、集団への所属感や連帯感を深める。 ・生徒の出番や役割を多く出し、その活動が承認されることで自己有用感を感じ、自尊感情を高められる活動を意図的に計画する。 ・総合: 様々な話し合い活動や集団活動を通して、知識・技能を獲得し、課題解決に向けて自他を尊重しながら主体的に表現する力を育てる。 ・個別級: 生徒一人ひとりの特性に応じた教育を行うことで、長所を伸ばす。基本的な生活習慣を身に付け、健康で明るく素直な心を育てる。
下半期	